

十勝川中流部市民協働会議_活動記録 (3)

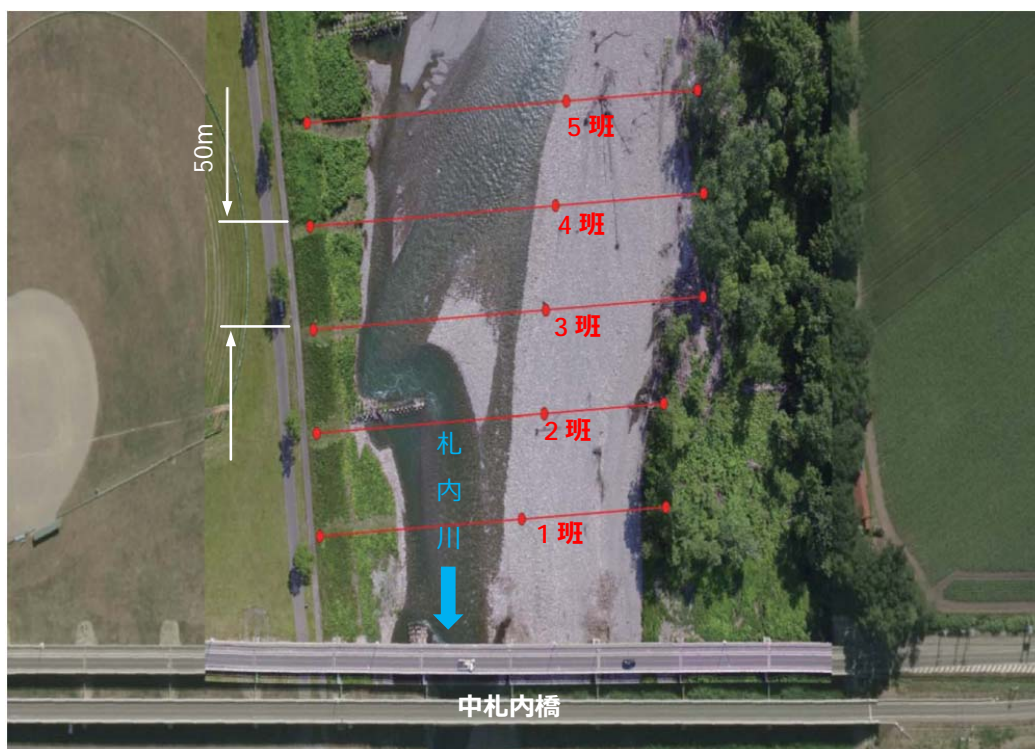
札内川懇談会支援 中札内橋上流部における横断測量他

- 日 時：平成 29 年 6 月 27 日 (火) 10:00~15:00
- 参加者：帯広工業高等学校 環境土木科 1 年生 (35 名 欠席 5 名)
十勝川中流部市民協働会議 9 名
- 作業内容 (1)：札内川中札内橋上流部の横断測量
- 作業内容 (2)：公園内の樹木について学習
- 場 所：中札内橋 上流部 (測量) 同下流部高水敷 (樹木学習)

作業内容 1. 札内川中札内橋上流部の横断測量

中札内橋上流部における横断測量は、礫河原再生を目的に平成 27 年度より実施してきました。札内川ダムから人工的に放流を行い、河畔林の樹林化抑制効果のモニタリングとして放流前と放流後に行います。

札内川懇談会の支援として行っている今年度の横断測量は、昨年度の洪水の影響で札内川ダムからの人工的な放流が中止となりましたが、今まで通り年 2 回行います。今回は夏季に発生が予想される出水の影響に伴う地形の変化 (河床の変化) を把握することを目的に実施しました。2 回目の横断測量は、秋季の 9 月~10 月に予定しています。



横断測量箇所航空写



中札内橋から上流方向_横断測量を行っている箇所の全景



横断測量風景

各班のファシリテーターは、以下の通り

1班：穴戸 / 2班：大澤 / 3班：上田 / 4班：紅葉 / 5班：橋本

作業内容2. 札内川中札内橋下流部の公園内の樹木学習について

午後からは、中札内橋下流部の公園内に自生している河畔林樹木についての学習を行いました。

学習内容は、樹木の樹高・直径の計測と公園の学習範囲内に自生している樹木の種類についてです。

樹木の計測は、班毎に1本の樹木に対して土木用の器具であるスラント（勾配計）と巻き尺（エスロンテープ）を使用して行いました。



スラントとエスロンテープによる樹高計測

樹木の種類についての学習は、生徒が一人ずつ樹木の枝を採取し分類した上で、その樹木や葉の特徴について事務局員の室瀬から説明を行いました。



樹木の葉探し



収集した葉についての説明